

**2021年度 関西四大学
「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書**

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で13年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和2年における組織犯罪の情勢（第2章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯検挙人員は近年横ばいが続いています。覚醒剤の密輸入押収量も依然として高水準にあり、大麻栽培事犯の検挙人員も近年増加傾向にあります。覚醒剤事犯検挙人員は、依然として薬物事犯全体の検挙人員の6割以上を占めており、加えて、大麻事犯検挙人員については、前年に続いて過去最多を更新しており、大麻事犯における若年層の増加傾向に歯止めをかける必要があるといえます。

また、昨今では乱用した者が重篤な症状を起こして救急搬送されたり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど社会問題化し、「危険ドラッグ」と総称された薬物について、政府は2014年4月に薬事法を改正（「医薬品医療機器法」）し、対策を強化しています。その結果、危険ドラッグの使用が原因と疑われる死亡事案が大幅に減少するなど、その対策に一定の効果が上がっている一方、インターネットを利用して密売されるなど流通ルートが潜在化しており、今後の動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

なお、質問項目については、大麻が中心であったものから、2015年に「危険ドラッグ」を含む、危険な薬物全般について調査する内容に変更しています。今回も同様に、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用

防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接しているほか、引き続き、ごく少数であっても薬物に接触する危険性があることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

関西大学学長	前田 裕
関西学院大学学長	村田 治
同志社大学学長	植木 朝子
立命館大学学長	仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数 : 2021年度入学生 26,818 名(関西四大学合計人数)
実施期間 : 各大学により定められた期間(2021年4~6月)
調査方法 : WEBアンケート
回答数(率) : 14,074 名(52%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
非常に関心がある	5.0%	2019年度との比較+2.3 ポイント
ある程度関心がある	34.6%	2019年度との比較+3.0 ポイント
どちらともいえない	27.6%	2019年度との比較+1.2 ポイント
あまり関心がない	14.1%	2019年度との比較-0.8 ポイント
ほとんど関心がない	18.7%	2019年度との比較-5.7 ポイント

過去の調査と比較すると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の合計が「あまり関心がない」「ほとんど関心がない」の合計を初めて上回っており、薬物問題への関心は高くなりつつあることが伺える。

◇質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2021年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	79.2%	2019年度との比較+2.7 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	87.7%	2019年度との比較-4.4 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	93.8%	2019年度との比較+0.2 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	81.0%	2019年度との比較-11.4 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	60.9%	2019年度との比較-1.2 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	19.5%	2019年度との比較+2.9 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	61.2%	2019年度との比較+2.8 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	71.9%	2019年度との比較+1.5 ポイント
知っているものはない	2.8%	2019年度との比較+0.4 ポイント

覚せい剤やコカインに関する認知は下がっているものの、有機溶剤、大麻、LSD、MDMA及び危険ドラッグなどの認知が高まりつつある。

◇質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	90.7%	2019年度との比較+0.3 ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	0.4%	2019年度との比較-0.2 ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	7.7%	2019年度との比較-0.4 ポイント

「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、一方で「1回位なら使ってもかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生が一定数存在している。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	95.3%	2019年度との比較+0.7 ポイント
購入を勧められたことがある	0.2%	2019年度との比較-0.2 ポイント
使用を誘われたことがある	0.6%	2019年度との比較-0.5 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.1%	
わからない	3.8%	2019年度との比較-0.1 ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答がもっとも多かった。

◇質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
いない	91.2%	2019年度との比較+4.7 ポイント
いる(いた)	2.4%	2019年度との比較-1.4 ポイント
わからない	6.4%	2019年度との比較-3.3 ポイント

「いない」という回答がもっとも多く、増加傾向にある。

◇質問15(イ) 【質問15(ア)で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】どの薬物でしたか。(複数選択可)

<回答>	2021年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	7.9%	2019年度との比較-2.7 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	11.2%	2019年度との比較+2.3 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	57.9%	2019年度との比較+7.2 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	5.0%	2019年度との比較+0.1 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	2.1%	2019年度との比較+0.7 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	6.8%	2019年度との比較+3.7 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	4.1%	2019年度との比較+0.5 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	6.5%	2019年度との比較+0.2 ポイント
わからない	30.0%	2019年度との比較+1.3 ポイント

引き続き大麻の比率が高い傾向にあり、増加傾向にある。また、覚せい剤やLSDなども増加傾向にある。

◇質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2021年度	参考値
警察の相談窓口	35.4%	2019年度との比較+9.1 ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	12.0%	2019年度との比較+0.3 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	9.2%	
医療機関の相談窓口	13.9%	2019年度との比較-3.0 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	10.1%	2019年度との比較+0.7 ポイント
知らない	55.7%	2019年度との比較-2.8 ポイント

薬物に関する相談窓口の認知について、警察の相談窓口が増加傾向にあった。全体的な認知度には若干の改善傾向がみられるものの、大学としてもこれらに関する情報発信を引き続き行っていく必要があると考える。

◇質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

<回答>	2021年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	62.1%	2019年度との比較+13.5 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	47.3%	2019年度との比較+9.2 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	16.5%	2019年度との比較+3.0 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	16.0%	2019年度との比較+4.1 ポイント
特になし	18.9%	2019年度との比較-4.5 ポイント

「薬物乱用による健康被害情報」や「薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報」の認知欲求が高い増加傾向にある。

◇質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
不可能だ	37.9%	2019年度との比較+15.7 ポイント
かなり難しい	25.1%	2019年度との比較+2.8 ポイント
難しいが手に入る	25.3%	2019年度との比較-12.5 ポイント
手に入る	11.7%	2019年度との比較-6.1 ポイント

「不可能だ」「かなり難しい」など、入手不可能だと考えている人が増加する傾向にあり、「難しいが手に入る」「手に入る」など、入手可能との回答が減少傾向にあった。

◇質問19(イ) 【質問19(ア)で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

<回答>	2021年度	参考値
SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから	90.6%	2019年度との比較+5.7 ポイント
SNSやインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	7.6%	2019年度との比較+2.9 ポイント
それ以外	7.8%	2019年度との比較-4.4 ポイント

入手可能と考えた理由について、大半が「SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから」と答えており、その割合は増加傾向にある。

◇質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つ選択)

<回答>	2021年度	参考値
知っている	72.6%	2019年度との比較+4.3 ポイント
知らなかった	27.4%	2019年度との比較-4.3 ポイント

認知の増加傾向が多少あったものの、危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要が伺える。

共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	非常に関心がある	703	5.0%
2	ある程度関心がある	4,869	34.6%
3	どちらともいえない	3,890	27.6%
4	あまり関心がない	1,980	14.1%
5	ほとんど関心がない	2,632	18.7%
6	不明	6	0.0%
	合計	14,080	100.0%

共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	11,154	79.2%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	12,340	87.7%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	13,197	93.8%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	11,394	81.0%
5	あへん類(ヘロインなど)	8,571	60.9%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	2,742	19.5%
7	MDMA(エクスタシーなど)	8,608	61.2%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	10,122	71.9%
9	知っているものはない	390	2.8%
	合計	14,075	100.0%

【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	かっこいい	56	0.4%
2	気持ち良くなれる気がする	750	5.3%
3	ダイエットに効果がある	55	0.4%
4	眠気覚ましに効果がある	106	0.8%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	73	0.5%
6	心や体に害がある	11,226	79.7%
7	犯罪に巻き込まれる	11,406	81.0%
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	10,778	76.6%
9	1回でも使うと止められなくなる	11,464	81.4%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	10,359	73.6%
11	特にない	656	4.7%
12	わからない	236	1.7%
	合計	14,079	100.0%

共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお思いますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	罰せられる	13,503	95.9%
2	罰せられるものもある	392	2.8%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	8	0.1%
4	罰せられることはない	28	0.2%
5	わからない	145	1.0%
6	不明	4	0.0%
	合計	14,080	100.0%

共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	あった	13,689	97.2%
2	なかった	379	2.7%
3	不明	12	0.1%
	合計	14,080	100.0%

共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	13,477	95.7%
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	12,603	89.5%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	11,942	84.8%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	9,470	67.3%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	12,973	92.2%
6	知らなかった	203	1.4%
	合計	14,077	100.0%

共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	小学校の授業	8,606	61.1%
2	中学校の授業	12,691	90.2%
3	高校の授業	12,697	90.2%
4	大学が配布しているリーフレット等	511	3.6%
5	大学での啓発ビデオ	200	1.4%
6	大学での講演会	103	0.7%
7	友達、仲間、先輩、後輩	714	5.1%
8	家族	958	6.8%
9	ポスター、パンフレット	2,248	16.0%
10	本、雑誌	1,195	8.5%
11	新聞	1,250	8.9%
12	テレビ	5,406	38.4%
13	ラジオ	170	1.2%
14	携帯電話	724	5.1%
15	インターネット	3,117	22.1%
16	SNS	1,700	12.1%
17	その他	66	0.5%
	合計	14,077	100.0%

共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知りたい	3,587	25.5%
2	知りたいとは思わない	3,786	26.9%
3	どちらでもない	6,696	47.6%
4	不明	11	0.1%
	合計	14,080	100.0%

共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	6,749	48.0%
2	家庭	1,647	11.7%
3	地域活動、自治体等の広報誌	1,179	8.4%
4	図書館、公民館	996	7.1%
5	保健所	1,457	10.4%
6	警察	3,152	22.4%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,068	14.7%
8	病院	1,791	12.7%
9	インターネット	3,531	25.1%
10	講演会、座談会	1,992	14.2%
11	特にない	2,140	15.2%
12	その他	122	0.9%
	合計	14,066	100.0%

共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	9,773	69.5%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	1,213	8.6%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	4,871	34.6%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	2,095	14.9%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3,019	21.5%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	4,907	34.9%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1,493	10.6%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	6,359	45.2%
9	学校や家庭がおもしろくない	2,504	17.8%
10	わからない	738	5.2%
11	その他	238	1.7%
	合計	14,071	100.0%

共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	12,739	90.5%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	50	0.4%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,087	7.7%
4	その他	166	1.2%
5	不明	38	0.3%
	合計	14,080	100.0%

共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	ない	13,134	93.3%
2	ある	925	6.6%
3	不明	21	0.1%
	合計	14,080	100.0%

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘われたり、勧められたことはない	13,388	95.1%
2	購入を勧められたことがある	34	0.2%
3	使用を誘われたことがある	90	0.6%
4	無理やり使わされたことがある	8	0.1%
5	わからない	530	3.8%
6	不明	30	0.2%
	合計	14,080	100.0%

共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	13,319	94.7%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	485	3.4%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	21	0.1%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	55	0.4%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	120	0.9%
6	わからない	387	2.8%
7	その他	98	0.7%
	合計	14,066	100.0%

共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	いない	12,827	91.1%
2	いる(いた)	340	2.4%
3	わからない	898	6.4%
4	不明	15	0.1%
	合計	14,080	100.0%

【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

共通質問15(イ) どの薬物でしたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	27	7.9%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	38	11.2%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	197	57.9%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	17	5.0%
5	あへん類(ヘロインなど)	7	2.1%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	23	6.8%
7	MDMA(エクスタシーなど)	14	4.1%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	22	6.5%
9	わからない	102	30.0%
	合計	340	100.0%

共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	使用をやめるよう説得する	7,585	53.9%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	1,905	13.5%
3	警察に通報する	1,848	13.1%
4	医療機関や保健所等に連絡する	489	3.5%
5	個人の自由であるので放っておく	969	6.9%
6	わからない	1,094	7.8%
7	その他	161	1.1%
8	不明	29	0.2%
	合計	14,080	100.0%

共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	警察の相談窓口	4,973	35.4%
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	1,680	12.0%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	1,288	9.2%
4	医療機関の相談窓口	1,948	13.9%
5	民間の支援団体の相談窓口	1,421	10.1%
6	知らない	7,834	55.7%
7	その他	21	0.1%
	合計	14,056	100.0%

共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何かですか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物乱用による健康被害情報	8,726	62.1%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	6,644	47.3%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	2,316	16.5%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	2,250	16.0%
5	特になし	2,658	18.9%
6	その他	73	0.5%
	合計	14,060	100.0%

共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	不可能だ	5,336	37.9%
2	かなり難しい	3,526	25.0%
3	難しいが手に入る	3,563	25.3%
4	手に入る	1,641	11.7%
5	不明	14	0.1%
	合計	14,080	100.0%

【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

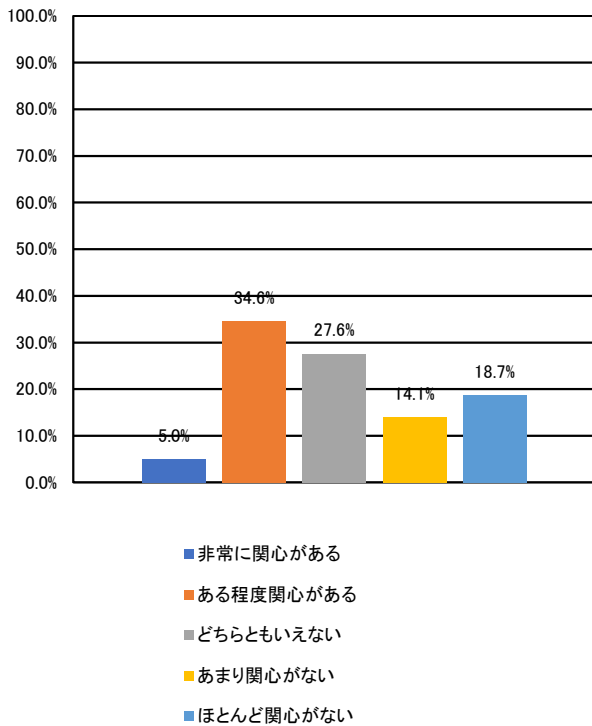
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	SNSやインターネットで探せば見つけることができると思うから	4,693	90.6%
2	SNSやインターネットで販売されているのを見かけたことがあるから	395	7.6%
3	それ以外	405	7.8%
	合計	5,180	100.0%

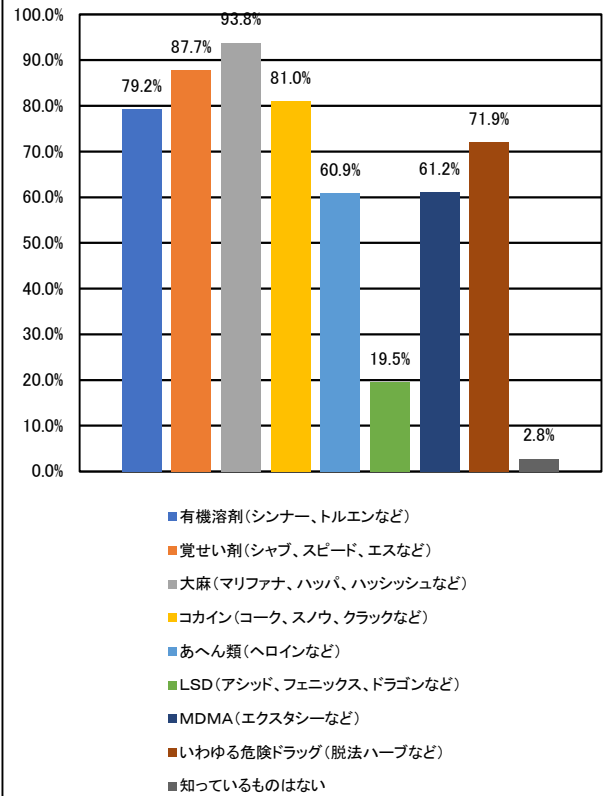
共通質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知っている	10,095	71.7%
2	知らなかった	3,816	27.1%
3	不明	169	1.2%
	合計	14,080	100.0%

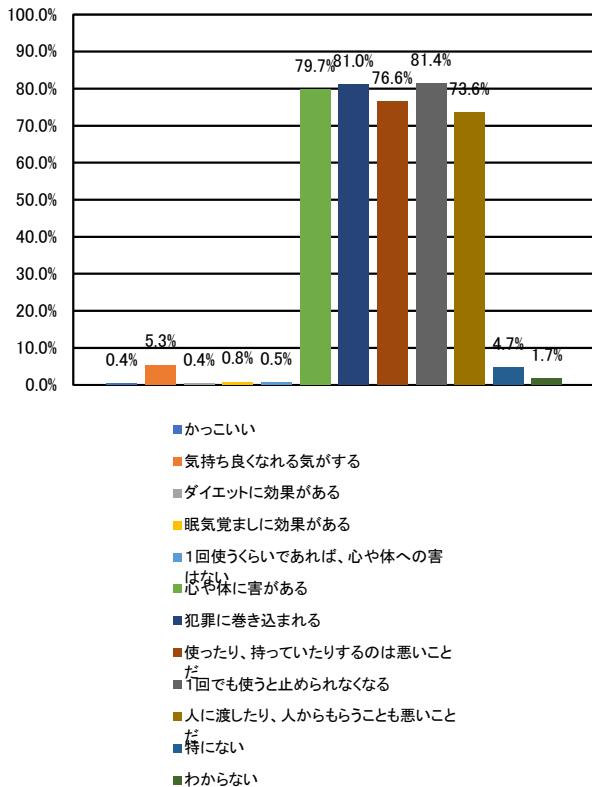
共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)N=14,080



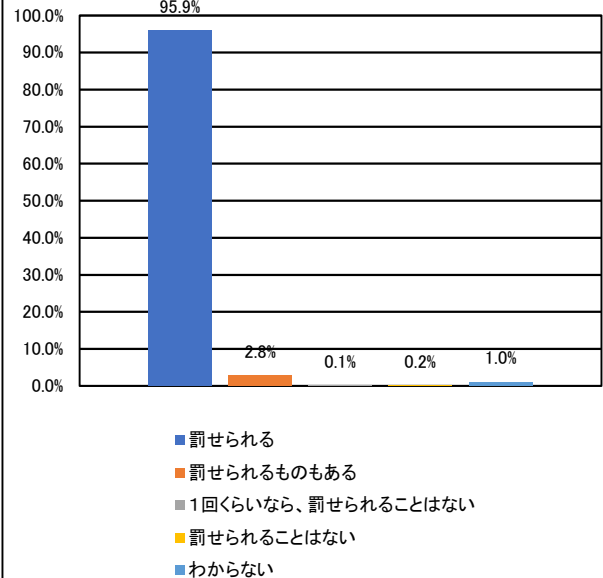
共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)N=14,075



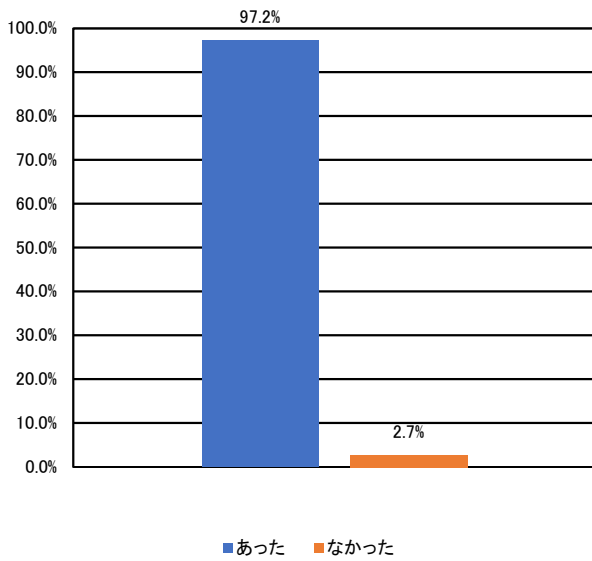
共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可)N=14,079



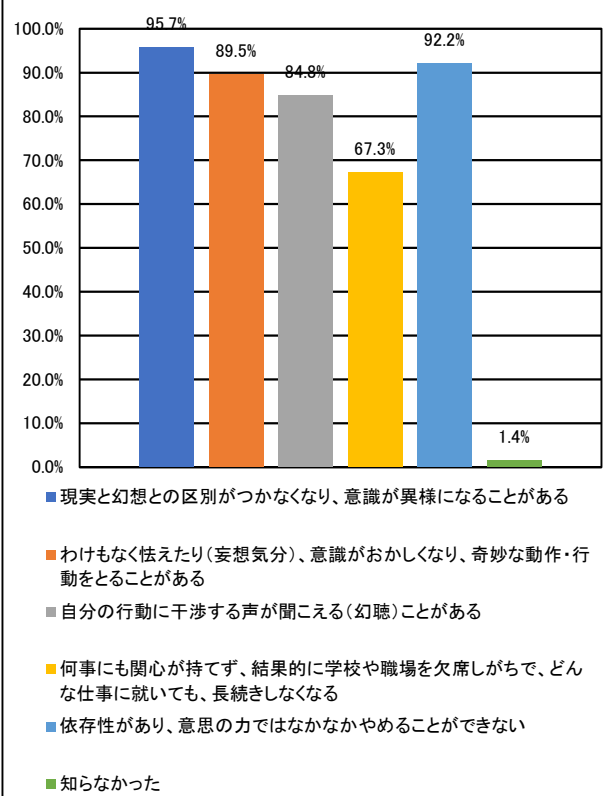
共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。(1つ選択)N=14,080



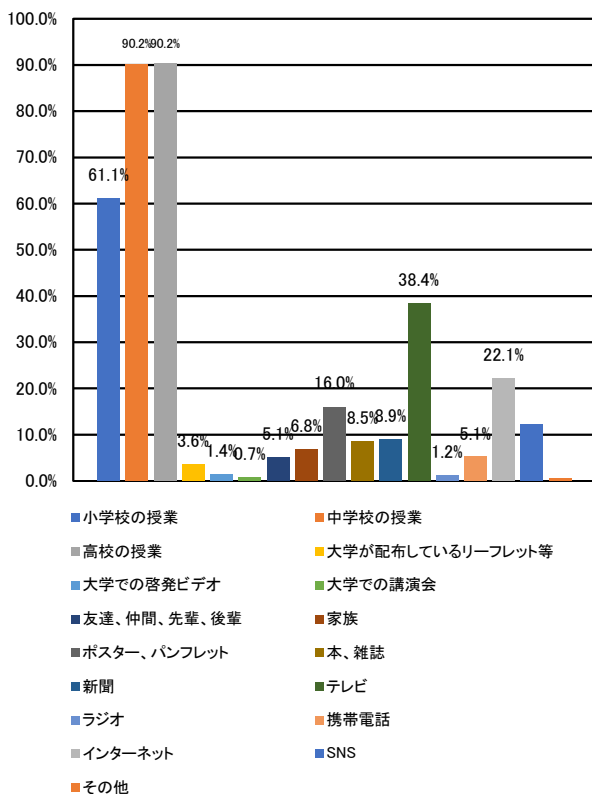
共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかを選択)N=14,080



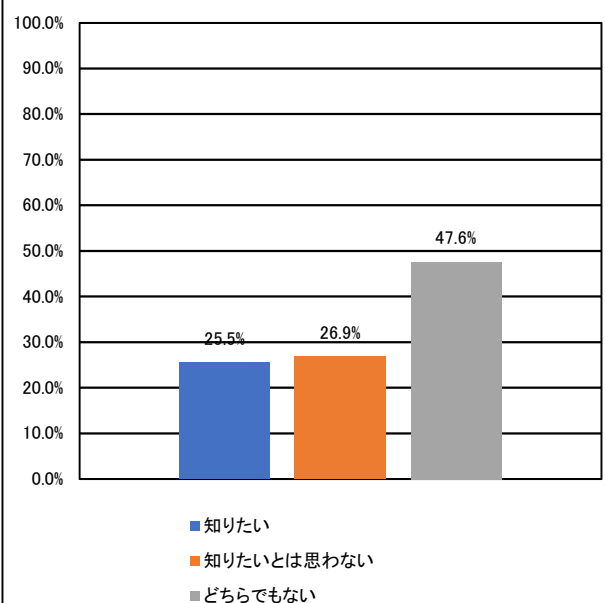
共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようなことがあるのを知っていましたか。(複数選択可)N=14,077



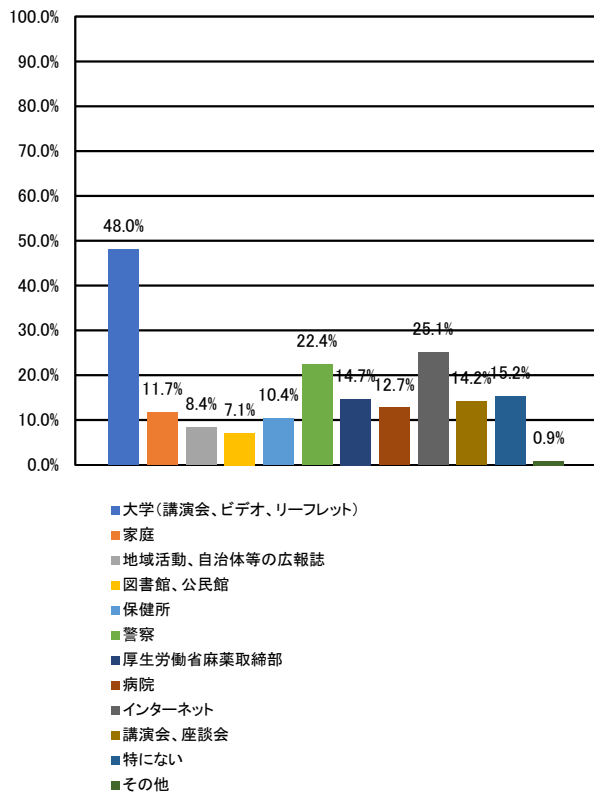
共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可)N=14,077



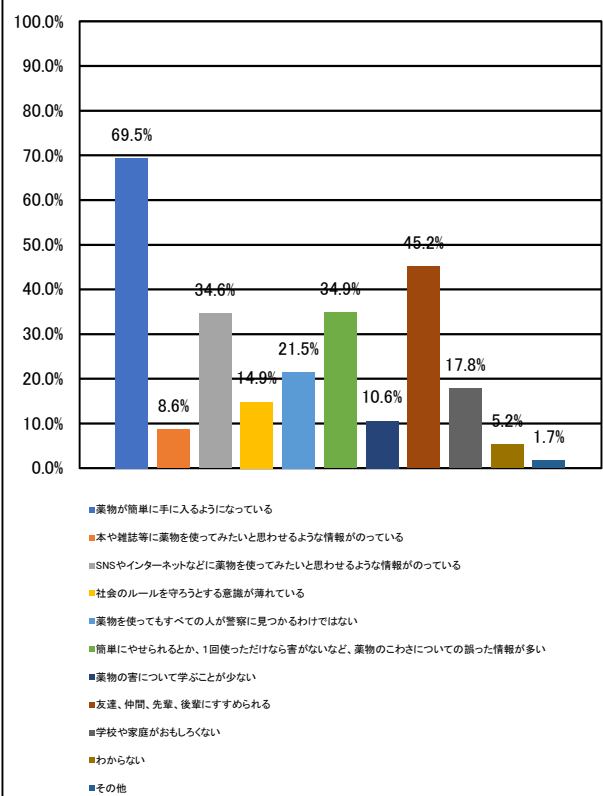
共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択)N=14,080



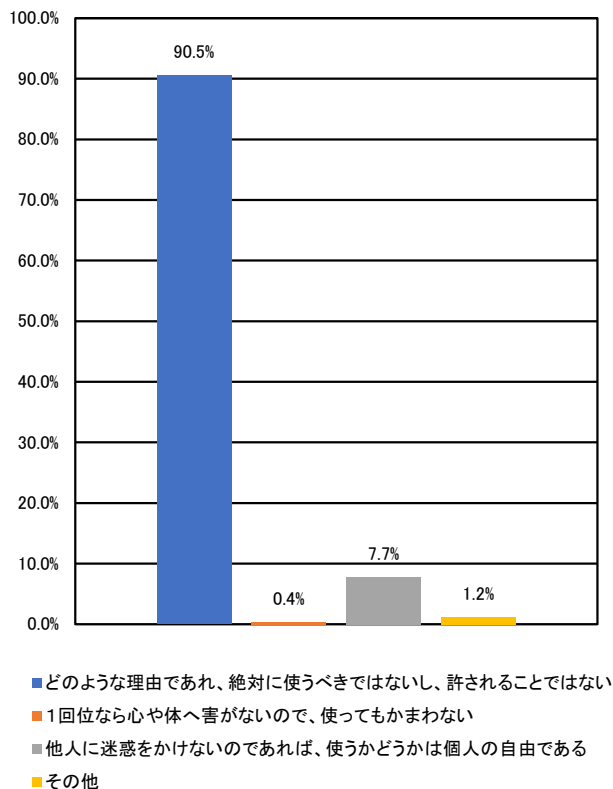
共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可)N=14,066



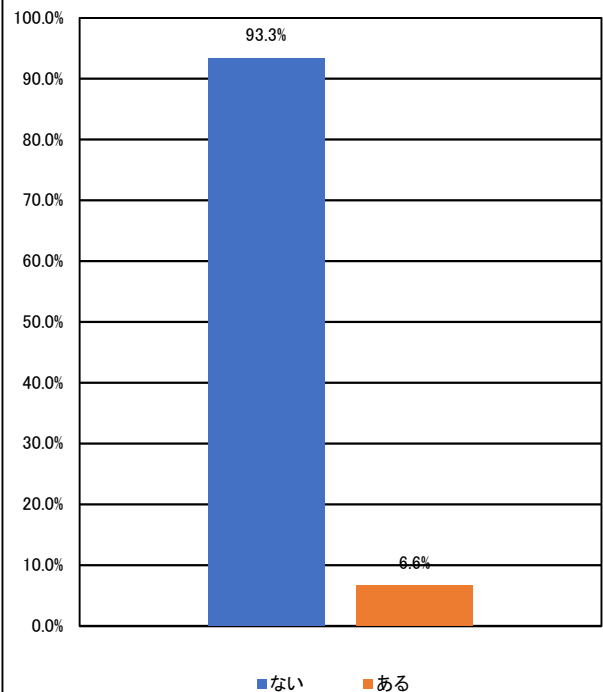
共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数選択可)N=14,071



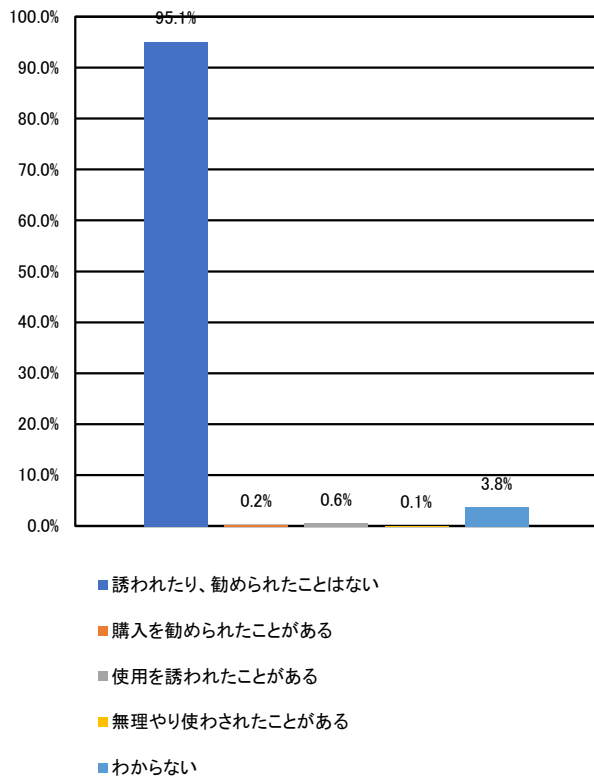
共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)N=14,080



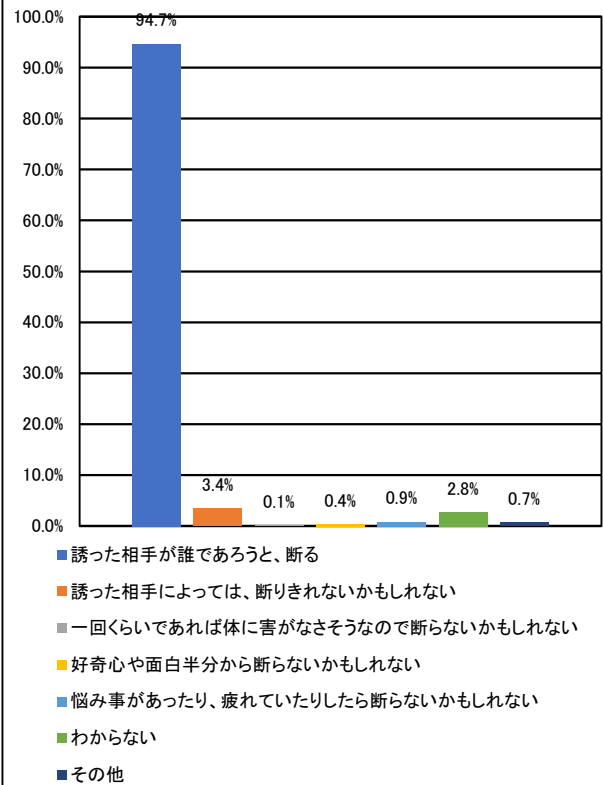
共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかを選択)N=14,080



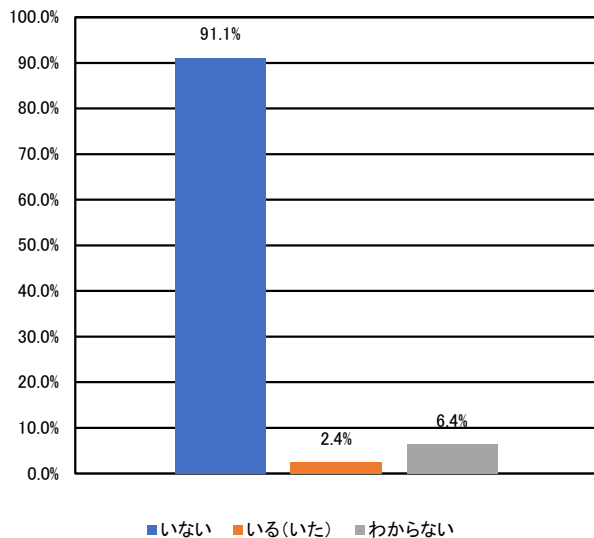
共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)N=14,080



共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可)N=14,066

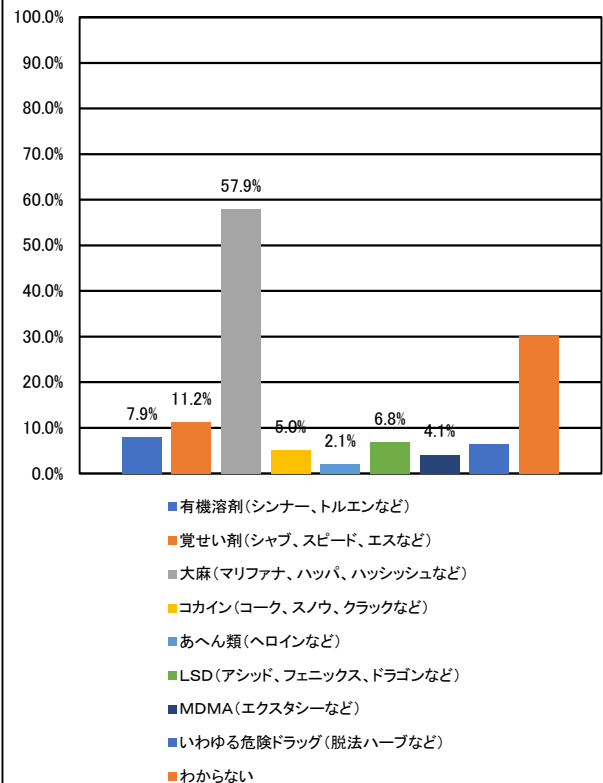


共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)N=14,080

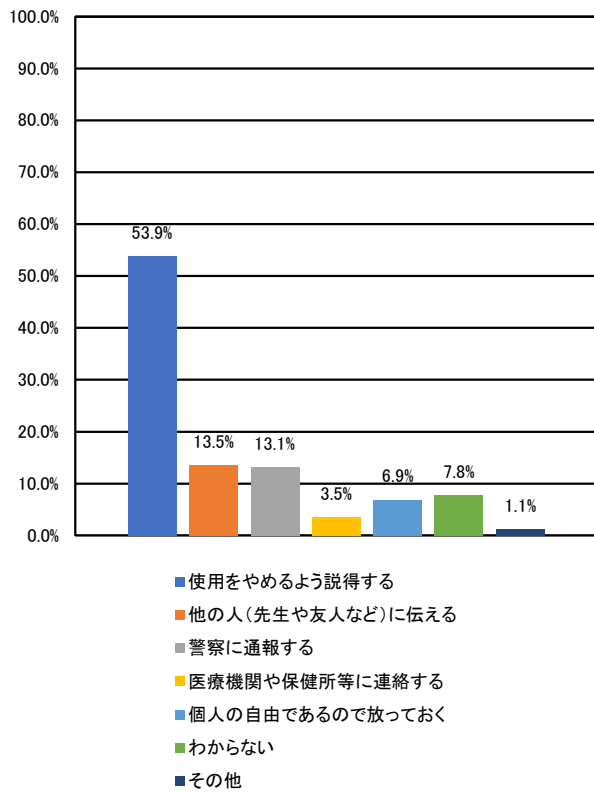


【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

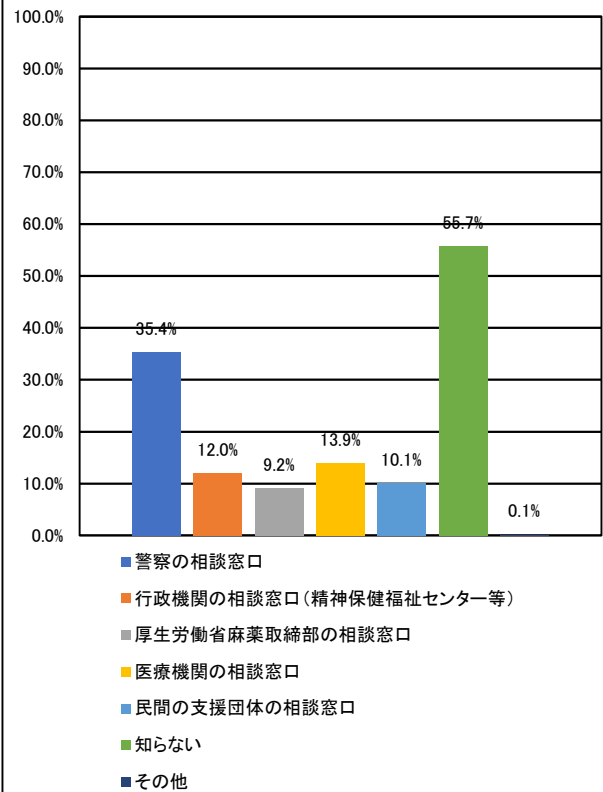
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数選択可)N=340



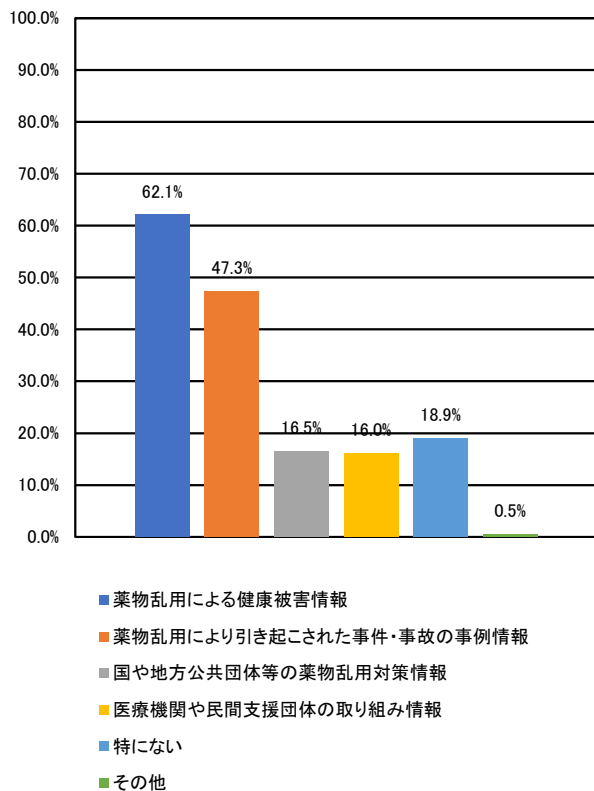
共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択) N=14,080



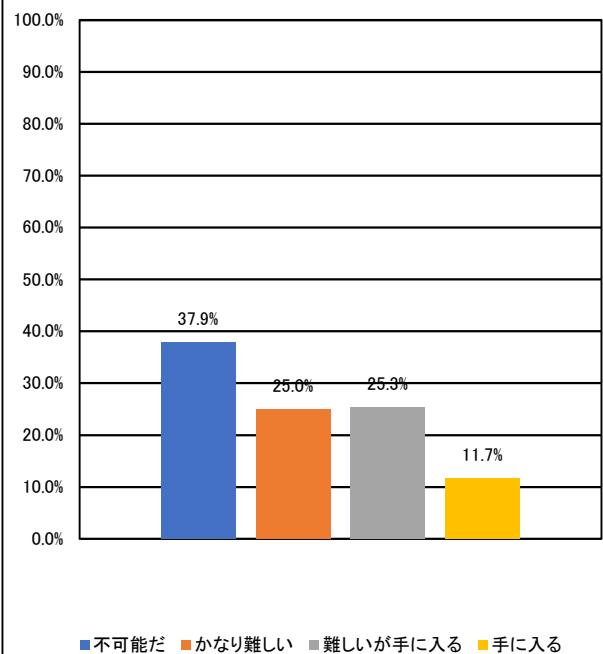
共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可) N=14,056



共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可) N=14,060



共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択) N=14,080



【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

